



プロジェクトマネジメント

令和6年7月10日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

一つの目的を企業が達成する時、プロジェクトマネジメントにおいて、それを実現することができるのである。

これらは詳細な説明と理解を見える化し、計画においてそれを実現することができるのである。

これらは理解の未熟さを有する限り、それら計画の実現性を低いのであるけれども、計画が詳細に、真実を得る時、これらが現実の形成を可能とできるのである。

またビジョンとも目標は明確化し、共有化することで、プロジェクトへの参加における共有性を確立できるのである。

これらは企業が自己の方向性を求めることの必要性であり、自らの指針と将来ビジョンは、詳細な行動計画とともに、企業経営の健全性を与えると判断できるのである。

これらはプロジェクトリーダーの下チームが、一つの現実を達成するものである。これらは稚拙さにおいて失敗し、その全体への理解において成功するものである。

これらはビジョンや目標を詳細に見える化し、明確化することで、行動における正確性を与えるのである。また全ての行動計画は詳細に、それら記述を要求し、タイムラインとともに、その現実の確立を行う必要性を有するのである。

これらはチームとリーダーが一つのビジョンや目標を共有し、それら計画の作成を詳細に求め、計画とともに時事系列においてそれら全ての現実を行うことで、その目的の現実化を実現できるのである。

これらは企業の有する多様な可能性をその選択とともに実現することへの提案である。これら可能性は資本力とともに、企業の将来における要求を有することにおいて、正判断であるはずである。